

## 国際化学肥料ニュース (2010年12月)

### 肥料業界の2010年12月動態

\* 2010年12月21日、IFA（国際肥料工業会）は「世界肥料市場短期展望 2010～2011」レポートを発表した。主な内容は下記の通りである。

1. 2008～2010年、肥料メーカーは化学肥料生産拡大を目指し、アフリカ、アジア及びラテンアメリカに約400億ドルを投資した。その結果、2010～2015年にこれらの地域に新たに55の尿素工場、40のりん安工場、20の加里生産工場が完成し、生産開始する見通しである。また、2011～2015年に化学肥料の生産設備に800億ドルの新規投資が見込まれている。
2. これに伴い、2009年に比べ、2014年には全世界の尿素生産能力が30%増の2.22億トン（実際重量）、りん酸肥料生産能力が31%増の4230万トン（P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>換算）、加里生産能力が25%増加の5470万トン（K<sub>2</sub>O換算）に達すると予測される。
3. リーマンショックを受け、2009年肥料価格と販売量、消費量が大幅に落ち込んだが、2010年上半期から肥料の消費量が上昇し、それに連動して肥料価格と販売量も回復した。2009年に比べ、2010年の肥料消費量が4.7%増、2011年も2010年より3.8%増の2.2億トンが見込まれる。
4. 今年、ロシアは旱魃による穀物生産量が大幅減、ロシアとウクライナ政府が食糧輸出を制限することや、アメリカ穀倉地帯が夏季高温多湿でトウモロコシ生産に悪影響を及ぼしたことにより、世界の小麦とトウモロコシ在庫が警戒水準まで減少し、農産物価格が大幅に上昇することにより、この数年間に化学肥料の消費量により影響を与える。また、バイオ燃料向け穀物の増加等も将来化学肥料の供給と消費に刺激を与えるだろう。

\* 2010年11月の中国化学肥料輸出速報値が公表された。10月末から中国政府が肥料輸出関税を引き上げる噂は広がり、外国需要家が尿素、りん安の買いを急ぐため、輸出量が大幅に増加した。

尿素輸出量 144.4万トン、去年同期より166.2%増、平均輸出価格 310.5ドル/トン（FOB）。主な輸出先はインド（46.7%）、次いでバングラデシュ（18.8%）、アメリカ（13.7%）であった。

DAP輸出量 46.8万トン、去年同期より80.1%増、平均輸出価格 480.7ドル/トン（FOB）。主な輸出先はインド（60.8%）であった。

MAP輸出量 11.3万トン、去年同期より175.4%増、平均輸出価格 450ドル/トン（FOB）。

TSP輸出量 19.5万トン、去年同期より23.8%減少した。

これにより、1～11月の合計輸出量は、尿素 551.9万トン、DAP 358.0万トン、MAP 87.7万トンであった。

- \* ブラジル肥料工業協会が発表した国内化学肥料統計によれば、2010年1～10月に国内肥料生産量781.1万トン、輸入量1250万トン、輸出量62.9万トン。国内出荷量は1999.5万トン、昨年同期より6.4%増。その内訳は窒素肥料219万トン（純N換算）、りん酸肥料281万トン（純P2O5換算）、加里肥料313万トン（純K2O換算）。また、2010年の国内出荷量は2350万トン以上、輸入量が1540万トンと予測した。
- \* ブラジルはりん安肥料の需要が高まる。2010年1～10月DAP輸入量33.9万トン、MAP輸入量96万トン、11月にDAPとMAP20万トン、12月10万トンを輸入する予定。昨年1～10月の輸入量はDAP28.5万トン、MAP75.6万トンであった。
- \* インドは今年度（2010年4月～2011年3月）の化学肥料生産数量と輸入数量がほぼ確定した。尿素生産量は2100～2150万トン、輸入量700万トン、DAP生産量は400～410万トン、輸入量800万トン、塩化加里輸入量300万トン。  
尿素的輸入は殆ど政府指定の3社（インド国家貿易、MMTC、IPL）が独占したため、高値掴め現象が頻発したと肥料関係者が指摘した。一方、DAPは自由輸入であり、輸入業者は6月国際市場が最安値の際に集中的に契約輸入したため、平均輸入価格（CIF）475～500ドル/トンであった。
- \* 11月19日、インド政府は化学肥料と硫黄の価格補助金を大幅削減することを発表した。DAPの補助金はトン当たり361.5ドルから288ドル、塩化加里はトン当たり326.5ドルから285ドルに引下げた。理由は政府の負担が大き過ぎるためである。現在、インド国内農家向けのDAP販売価格は221ドル/トン、塩化加里販売価格は112ドル/トンである。
- \* ロシア穀物協会理事長は12月20日に、来年ロシアの穀物生産量が7000万トンに達しない場合、政府の穀物輸出禁止令が延長されるだろうと発言した。ロシア政府の穀物輸出禁止令が今年7月1日に期限満了予定。また、ロシアは2010～2011年度には300～350万トンの穀物を輸入する予定である。  
ロシア今年秋～冬の穀物栽培面積が1550万ヘクタール。昨年は1800万ヘクタールであったが、旱魃のため、収穫量は6000万トン弱しかなかった。
- \* 中国貴州省開磷グループは12月29日に、新しいりん鉱山の調査報告会を北京で開いた。この新しいりん鉱山は貴州省貴陽市開陽県にあり、鉱脈が地下550～990mに長さ約15km、幅2～3.8kmあり、鉱層の平均厚さ5.34m、埋蔵量が7.82億トン、鉱石のりん酸（P2O5）平均含有量33.84%と正式発表した。このりん鉱山の調査報告はすでに中国国土資源省の審査をパスした。

## 12月の大口契約と輸出：

- \* オーストラリアの Fertinal 社はスイスの Ameropa 社、IPL 社、ドイツの KOCH 社に 25 万トン MAP と 5 万トン DAP を販売する契約を締結した。12 月中旬～3 月中旬までに 8 回船積予定。
- \* アルゼンチン ASP/YPF/Profertil 社は CFR617 ドル/トンの価格で Ameropa 社を經由してロシアから 1.5 万トン MAP を購入、今年 1 月納品。
- \* ケニア国営輸入輸出貿易は CFR600 ドル/トンの価格でロシアから 2.5 万トン DAP を購入、12 月末～1 月初めの船積予定。また、Mea 社は 2.5 万トン、ノルウェーの Yara 社も 2.5 万トン DAP を契約、12 月船積。
- \* FCI 社は FOB375～378 ドル/トンの価格でロシアとウクライナから 10 万トン尿素を購入した。12 月末～1 月船積予定。
- \* ブラジル Trammo 社はロシアから 2.2 万トンのりん安と 5000 トン尿素を購入し、12 月 18～22 日船積。また、Mosaic 社からも 3 万トンりん安を購入、12 月 5 日と 15 日船積。
- \* チュニジア 12 月の DAP 輸出状況： 2 万トンをイタリアに、5000 トンを他のヨーロッパ国、2.5 万トンをバングラデシュに輸出したが、まだ 7 万トンの在庫がある。
- \* モロッコ 12 月の DAP と MAP 輸出状況： アルゼンチンに 6 万トン DAP、ブラジルに 6 万トン DAP と MAP (DAP の価格は CFR610～615 ドル/トン)、ヨーロッパに少量の DAP を FOB590 ドル/トンで輸出。また、1 月に 15 万トンを輸出予定。
- \* スイス Key Trading 社は FOB590 ドル/トンの価格で 6000～7000 トン DAP をメキシコに輸出した。

## 肥料プラント新規建設

- \* 12 月 5 日、中国政府からの援助により建設されたミャンマー第 4 化学肥料工場が竣工した。これはミャンマー最新の化学肥料工場で、年間生産能力は 12 万トンアンモニアと 20 万トン尿素。
- \* 韓国 GS 建設はオーストラリア Perdanman 肥料会社との間に尿素工場の建設契約を締結した。契約金額 28.9 億ドル。この尿素工場は西オーストラリア州にあり、石炭を原料として年間 200 万トン尿素を生産し、製品は Incitec Pivot 社が販売担当、ほぼ全量輸出する予定。工場建設は今年上半期から着工、2014 年末完成する予定。
- \* サウジアラビア鉱業 (Maaden) とサウジアラビア基礎鉱業 (SABIC) の合弁で、Ras Az Zawr にある DAP 工場の基礎建設が完成した。但し、DAP 工場とサウジアラビア北部 Al Jalamid りん鉱山との鉄道建設が遅れたため、今年第 2 四半期に試運転、第 3 四半期から正式生産開始と発表した。当該プロジェクトは総投資 55 億ドル、年間 300 万トン DAP と 40 万トンアンモニア、16 万トンりん酸を生産するもので、DAP は全

量輸出にする予定。原計画では昨年未完成し、生産開始する予定であった。

- \* 11月13日、ロシア JSC 社は三菱重工業、双日、中国化学工業グループとの間に、共同でロシアのタタールスタン共和国に尿素、アンモニア、メタノール工場を建設することを合意し、契約した。当該工場の設計生産能力は 2050 トンアンモニア/日 又は 1382 トンアンモニア+668 トンメタノール/日、建設費用は 10 億ドル以上。三菱重工業はプロジェクトの総責任者として設計と設備の調達、中国化学工業グループはアンモニア、メタノール、尿素の合成装置の据付と土木建設用原材料の調達、双日は製品の販売担当。
- \* モロッコ OCP 社は年間生産能力 100 万トンの DAP と MAP 生産装置を 4 セット建設することを発表した。2013 年 6 月から 2015 年 6 月まで 6 月おきに 1 セットずつ完成させ、生産開始とする。この計画に合わせて、りん鉱石の採掘量が現在の年間 3000 万トンから 5000 万トンに、選鉱能力が現在の 900 万トンから 3800 万トンに強化する。この 4 セットのりん安生産装置が完成後、モロッコのりん安生産能力は 900 万トン/年を超え、世界最大のりん安供給元になる。なお、この計画の総投資額は 70 億ドルに予定される。

#### その他

- \* 12 月 15 日に中国財務省が 2011 年度の輸入輸出関税改定を正式に発表した。化学肥料の輸出関税改定内容は先月の国際化学肥料ニュースに書いた通り、  
尿素： 2011 年 1 月～6 月 30 日、11 月 1 日～12 月 31 日に需要期の 110% 関税、7 月 1 日～10 月 31 日に非需要期関税（7%）が適用される。基準価格が現行の 2300 人民元/トンから 2100 人民元/トンに引下げる。  
りん安（DAP、MAP）： 2011 年 1 月～5 月 31 日、10 月 1 日～12 月 31 日に需要期関税 110% が、6 月 1 日～9 月 30 日に非需要期関税（7%）が適用される。基準価格が DAP3400 人民元/トン、MAP2900 人民元/トンに引下げる。  
但し、上記の肥料でも 10kg 以下の包装は家庭用肥料と見なし、年間通じて 7% 輸出関税が適用される。  
他の化学肥料（重過石、過石、熔りん等）については、現行の 7% 輸出関税が引き続き適用される。
- \* 12 月 8 日、世界第 6 位の加里肥料生産者イスラエル ICL 社はアメリカ Scotts Miracle Gro (SMG) 社の Global Professional 事業を買収すると発表した。買収金額約 2.70 億ドル。Scotts Miracle Gro (SMG) 社は世界最大の芝生及び園芸用品販売業者であり、その Global Professional 事業は 2009 年度の売上 2.42 億ドル、営業利益 3140 万ドル、オ

ランダ、イギリスとアメリカに生産拠点を有する。

- \* ロシア **Uralkali** 社と **Silvinit** 社の取締役会は 12 月 20 日に両社の合併に合意したことを発表した。発表された合併案によれば、**Uralkali** が 14 億ドル現金で **Silvinit** の 20% 株を買収、残りの株は新株を発行して交換する。2011 年 2 月 4 日に株主総会を開き、その合併案を議決する。株主総会で同意を得られれば、2011 年 6 月末に正式合併する。

**Uralkali** はロシア最大、世界第 3 位の加里生産業者、その製品 90%以上が輸出され、主な輸出先はブラジル、中国、インドとマレーシア等。今回の合併が成功すれば、**Uralkali** は世界加里肥料シェア約 20%を持つ第 2 位の業者となる。

- \* ドイツ **K+S** 社は子会社のカナダ **K+S** を通じて、カナダ **Potash One** 社を買収することを発表した。買収金額は 1 株 4.5 カナダドル、総額 4.34 億カナダドル。この買収案はすでに **Potash One** 社の株主総会の賛成を得て、カナダ政府からの許可も下りた。具体的な買収スケジュールは 1 月 18 日公表する予定。

- \* ドイツ **K+S** 社はりん酸加里化成肥料の生産を停止し、そのブランド **Thomaslkali1** と **Patent-PK** を廃棄することを発表した。りん酸加里化成肥料生産停止の理由はりん酸原料の入手困難にあり、採算が合わないとのことである。